

市内中小企業の新たな発展モデルの
構築を目指す交流会
資料

「付加価値の高い物流拠点の
整備」

テーマに対する想い①

○現在24時間体制の物流拠点をもっているのは、市街化調整区域にも拠点を建てられる路線業者（特別積合せ貨物運送を行う業者。特別積合せ貨物運送とは自動車を用いた貨物運送の一形態で、地域ごとに仕分けを行う拠点を用意し、拠点間を結ぶ定期的な運送便に貨物を積み合わせて運送する方法）のみである。

○中小企業の物流業界は運転手不足が深刻で、このままでは陸送はなくなる可能性が大であり、これに対抗していくには、多機能のハブ機能を持った付加価値の高い物流拠点が必要と考えている。

テーマに対する想い②

○検討している付加価値の高い物流拠点では、2階に製造業に入ってもらったり、保育機能を持ったものにしていきたいと考えている。物流業界はシールを貼るなどの軽作業もあるので障害者雇用にもつながっていく。

○企業が減少してきている今この問題に取り組まないと、この先の物流業の未来はない。

○川口はやはりものづくりのまちなので、製造業等の連携、IoT及び女性ドライバーの活用も含め、様々なことに取り組んでいき、雇用の場を創出し、川口市の発展につなげていきたい。

テーマに対する想い③

○広報かわぐち12月号によると、市から「市街化調整区域における流通業務等施設の建設に関する基本方針(案)」が示されている。これによると、安行神根地区市街化調整区域内に流通業務施設が建築できるようになる見通しである。この地域は、交通の便もよく、物流拠点を建築するには、最適の場所になるので、この動きにも注視していきたい。

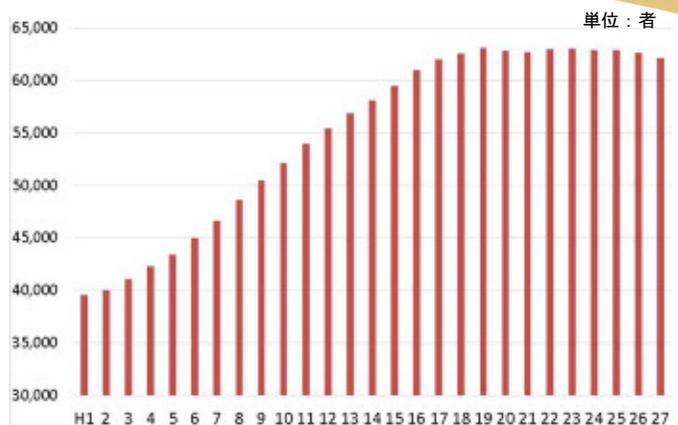
テーマに関するデータ等の資料

■ 物流業界の現状

■ 安行神根地区市街化調整区域の現状

物流業界の現状

●貨物自動車運送事業者数の推移



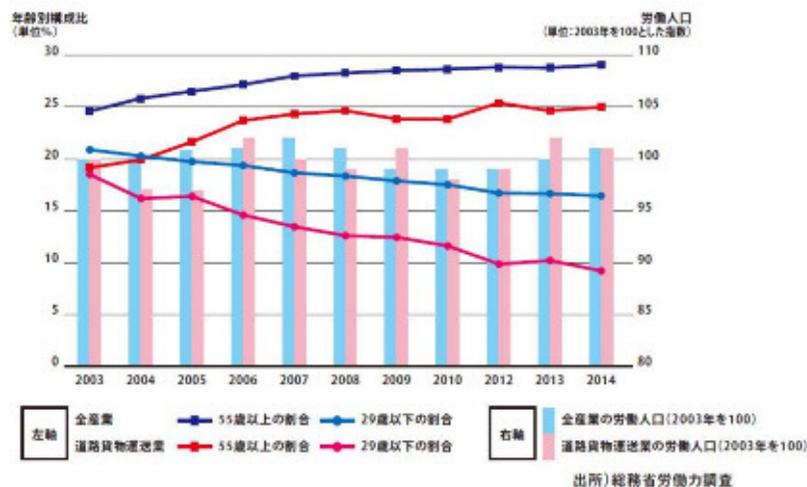
〔出所〕国土交通省自動車局貨物課 報道発表資料

●トラック業界の労働環境

	所得額	労働時間
全産業	480万円	2124時間
道路貨物運送業 (大型)	422万円	2592時間
道路貨物運送業 (中小型)	375万円	2580時間

出所)厚生労働省 賃金構造基本統計調査(2014年)

●トラック業界の高齢化の状況



出所)総務省労働力調査

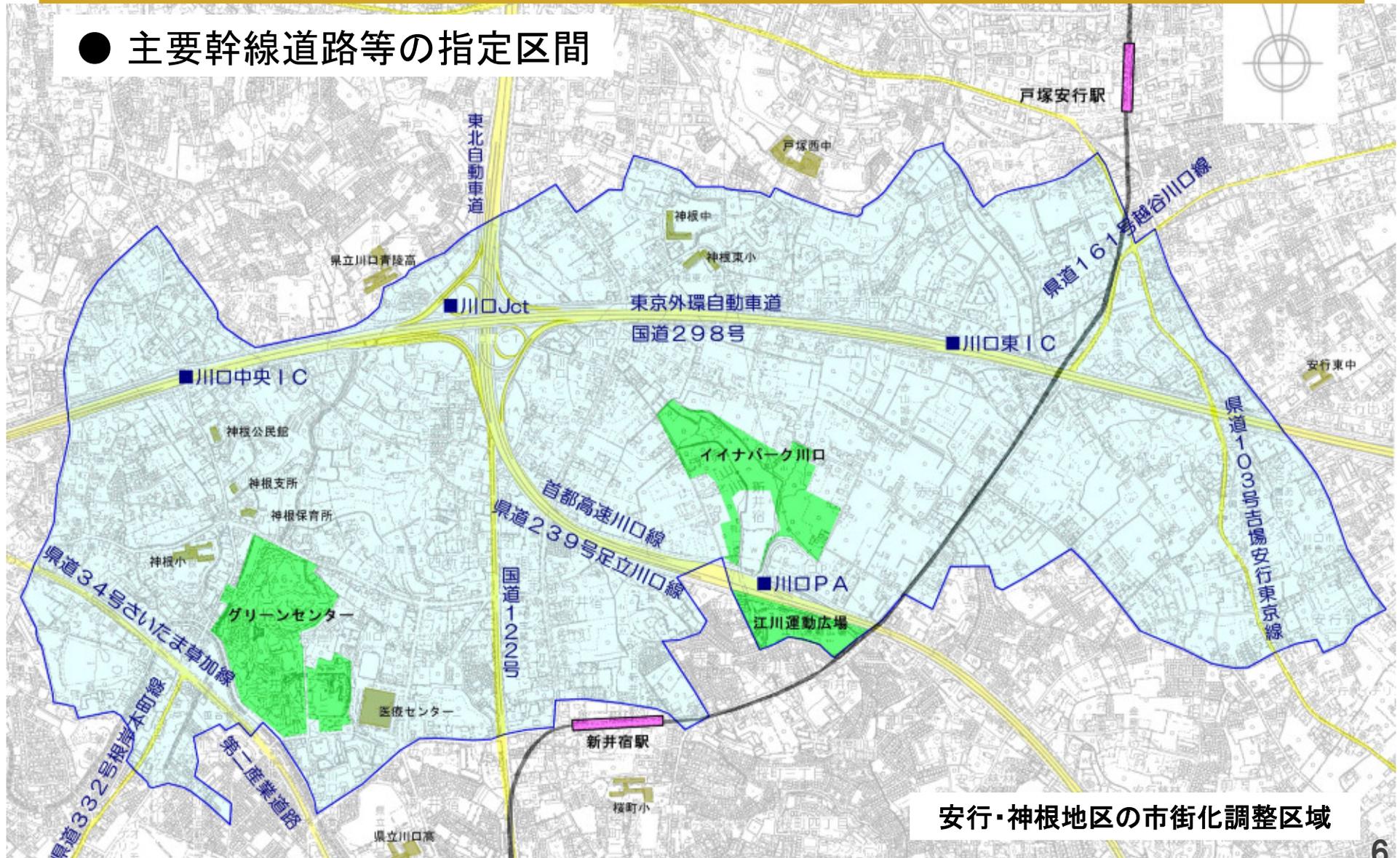
●トラックの荷待ち時間



出所)国土交通省トラック輸送状況の実態調査(平成27年)

安行神根地区市街化調整区域の現状

● 主要幹線道路等の指定区間



安行・神根地区の市街化調整区域

テーマに関する意見等

【大企業に無い付加価値の高い物流拠点にはどのような機能が必要か】

- ・
- ・

【市内のどこに物流拠点を設置するか(要件について)】

- ・
- ・

目 標

付加価値の高い物流拠点
の場所の選定、機能等につ
いて決める。

行動に移すための必要な準備

【現場・現状確認】(不動産関係)

【先進事例の確認】(物流業関係)

まとめ

【大企業に無い付加価値の高い物流拠点の機能と土地、周辺環境の要件について】

○機能

- ・異業種との連携など

○要件

- ・広さ、地権者の状況など

【今後の展開について】

- ・候補場所を決定するためのスケジュールの作成
- ・異業種との連携方法についての検討
など